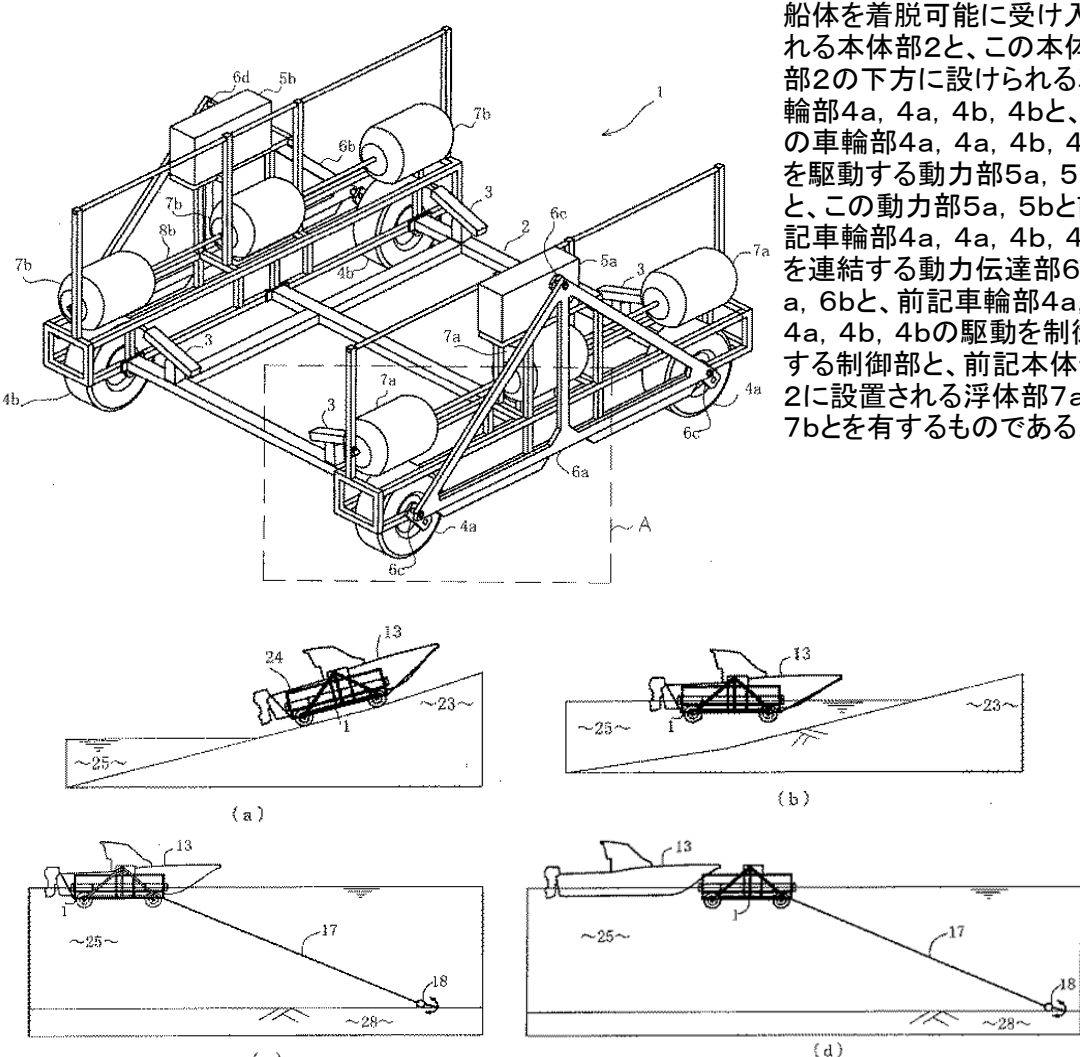


# パテントマート掲載用フォーム (権利・ライセンス情報)

[特許の内容]

整理番号: NT01001

出願番号	特願2003-008515	出願日	H15.1.16	登録番号	第3723179号
タイトル	自走船台				
技術分野	本発明は、自走船台に係わり、特に小型船舶を陸上から海上へ運搬して、さらに海洋において係留可能な自走船台に関する。				
目的	小型船舶を陸上の保管場所から海上まで運搬し、さらに小型船舶の使用時には海洋での係留保管を可能にし、小型船舶の使用に要する準備作業を一人で容易に、衛生的かつ安全に行うことができる自走船台を提供する。				
効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陸海上における船体の運搬、離脱、収容及び揚艇を一人作業によって容易にかつ安全に行うことができる。また、自走船台は船体の不使用保管時においても遊船時においてもマリーナや港の埠頭周辺に保管する必要がないため、これらの混雑を緩和して有効に活用することができる。</li> <li>・動力部が浸水しないので故障が少なくメンテナンスが容易である。</li> <li>・載置する船体の喫水に合わせて自走船台との相対位置を調整できるので、船体の離脱や収容作業を海上で容易に実施でき、さらに安定して海上を航行することができる。</li> <li>・係留手段によって自走船台を海洋で長時間安全に係留保管できると同時に風下側から首尾よく安全に船体を自走船台に収容することができる。</li> <li>・海洋に係留された自走船台を浮標によって容易に発見、識別することができる。また、風下側から首尾よく安全に船体を自走船台に収容することができる。</li> </ul>				
技術概要	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="flex: 1;">  </div> <div style="flex: 1; font-size: small;"> <p>船体を着脱可能に受け入れる本体部2と、この本体部2の下方に設けられる車輪部4a, 4a, 4b, 4bと、この車輪部4a, 4a, 4b, 4bを駆動する動力部5a, 5bと、この動力部5a, 5bと前記車輪部4a, 4a, 4b, 4bを連結する動力伝達部6a, 6bと、前記車輪部4a, 4a, 4b, 4bの駆動を制御する制御部と、前記本体部2に設置される浮体部7a, 7bとを有するものである。</p> </div> </div>				

[登録者情報・連絡先]

NT01001

氏名	内藤 幸一郎		
住所	山口県宇部市大字西岐波1246番地の39		
TEL/FAX			
E-mail	naito@naito-kogyosho.co.jp		
コメント			
●実施実績	有	●許諾実績	無
		●権利譲渡	可
		●実施許諾	可
希望ロイヤルティ:	要相談		



[お問い合わせ先]

アイピードリブンコンサルティング株式会社 (担当:南瀬 透)  
 〒753-0077 山口県山口市熊野町1-10 NPYビル1F  
 TEL:083-901-2260 FAX:083-901-2266  
<http://www.ipdriven.co.jp/> e-mail: minase@ipdriven.co.jp